

令和8年度

「運営に関する計画」

小中一貫校 むくのき学園

大阪市立啓発小学校

大阪市立中島中学校

令和8（2026）年4月

小中一貫校 むくのき学園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、平成26年度に大阪府で2番目の全市募集による施設一体型小中一貫校として開校した。開校前の啓発小学校と中島中学校は、長年にわたり、きびしい学力状況と困難な生活指導を課題として抱える学校であった。しかしながら、地域と連携し、丁寧できめ細かな対応を日々続けることで、状況の改善を図り、児童生徒の心の拠り所となる「温かな学校」を学校文化として育んできた。また、長年にわたり、多様な人権教育の取組を推進することで、高い人権意識と豊かな心の育成を図ってきた。

小中一貫校開校時は、大阪府教育振興基本計画に示されていた多岐にわたる教育改革施策を現場において研究・推進する「大阪府教育改革総合モデル校」の役割を期待される立場であった。その中で、小中学校の円滑な接続と、小中の教職員の協働、ICTを活用した教育活動、新しい英語教育、自校調理の中学校給食など新たな課題への対応に追われた。それぞれ違う環境の中で過ごしてきた小中学校の教職員が、小中共通の組織目標のもと、主体的・能動的に協働する姿が現在では自然となり、組織的に取組を推進できるようになった。

小中学校の全国学力・学習状況調査、大阪府中学生チャレンジテスト等での学力到達度を示す数値は、着実に向上しているものの、さらなる伸びが必要である。また、全市募集を行うなかで、不登校など様々な課題を抱える生徒の7年生編入、支援が必要な児童生徒の増加に伴う支援体制の充実など、新たな課題も出てきている。

令和7年度、大阪府教育委員会の支援を受け、国際バカロレア (IB) 候補校となった。今後は、数年かけて IB 認定校となるように校内での取組を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 84%、中学校 88% 以上にする。 【小：80.7% 中：85.5%】

【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 80%、中学校 88%以上にする。 【小：75.3% 中：83.8%】

【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。 【小：67.7%】

- 令和 11 年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検 3 級)相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 55%以上にする。 【中：50.0%】

【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査及び校内調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 73%、中学校 61%以上にする。 【小：69.3% 中：57.3%】

【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度末の小学校学力経年調査及び校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童生徒の割合を小学校 63%、中学校 52%以上にする。

【小：59.6% 中：48.9%】 【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】

- 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和 11 年度の教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 90%以上にする。 【小：100% 中：80%】

【基本的な方向 7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

【その他】

- 令和 11 年度に国際教育プログラムである「国際バカロレア教育(IB)」の認定校認定をめざす。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和 8 年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 81%、中学校 86%以上にする。 【小：80.7% 中：85.5%】

【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】

○令和 8 年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 77%、中学校 85%以上にする。 【小：75.3% 中：83.8%】

【基本的な方向 2 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 8 年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 【小：67.7%】

○令和 8 年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検 3 級)相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 52%以上にする。 【中：50.0%】

【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】

○令和 8 年度の小学校学力経年調査及び校内調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 71%、中学校 59%以上にする。 【小：69.3% 中：57.3%】

【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 8 年度末の小学校学力経年調査及び校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週 3 回以上と回答する児童生徒の割合を小学校 60%、中学校 50%以上にする。 【小：59.6% 中：48.9%】

【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】

○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和 8 年度の教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 85%以上にする。 【小：100% 中：80%】

【基本的な方向 7：人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

【その他】

○国際教育プログラムである「国際バカロレア教育(IB)」の認定校認定に向けて準備を進める。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

小中一貫校むくのき学園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校81%、中学校86%以上にする。 【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>○令和8年度の小学校学力経年調査及び校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校77%、中学校85%以上にする。 【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①</p> <p>様々な行事において、一人一人に役割を与えて活躍の場をつくり、達成感・充実感を味わうことや友だちとのちがいを認め合うことで、自己有用感・自尊感情を育む。</p>	
<p>指標</p> <p>異学年交流の活動を学期に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②</p> <p>小中一貫校として9年間を見通した系統的な人権教育を推進し、豊かな人権感覚を育てる。</p>	
<p>指標</p> <p>本校の人権教育をより一層充実させるために、人権教育の年間計画に基づいて、各学年において人権課題に関わる取組を年1回以上取り組む。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>	
次年度への改善点	
<p>【取組内容①】</p> <p>【取組内容②】</p>	

小中一貫校むくのき学園 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和 8 年度の小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○令和 8 年度の大阪市英語力調査において、CEFR A1 レベル(英検 3 級)相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合(4 技能)を 52%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○令和 8 年度の校内調査において、「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を小学校 71%、中学校 59%以上にする。 【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p>	
<p style="text-align: center;">年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	達成状況
<p>取組内容③</p> <p>(小学校) 中学校英語科教員による高学年の外国語授業の入り込み指導、C-NET のネイティブな英語にふれることのできる外国語学習、英語モジュール学習など児童が英語に親しむことのできる活動や、月に 1 回の英語集会や週に 1 回の外国語のあいさつ活動など、世界の文化を知る機会を設定する。</p> <p>(中学校) 英語能力を高めることができる英検の推奨を図るとともに、準会場として 2 回本校で受ける機会を設け、中学校 2 年生に関しては学年全員が受験する機会を設定する。</p> <p>指標</p> <p>(小学校) 5, 6 年生外国語における経年調査の平均を 85 点以上にする。(前年度校内平均 84.7/市平均 85.75)</p> <p>(中学校) 英語検定を受験した生徒のうち、合格者の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④</p> <p>児童生徒が意欲的・積極的に運動に取り組めるよう、健やかな体の育成を図る。</p> <p>指標</p> <p>(小学校) 児童会活動における運動に関する取組を学期に 1 回以上実施する。</p> <p>(中学校) 学校診断アンケートにおいて「朝食を食べている」の項目について、肯定的回答率を 80%以上にできるよう、基本的な生活習慣の確立をめざした取組を実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容③】</p> <p>【取組内容④】</p>	

次年度への改善点

【取組内容③】

【取組内容④】

(様式2)

小中一貫校むくのき学園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和8年度末の小学校学力経年調査及び校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童生徒の割合を小学校60%、中学校50%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>○教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、令和8年度の教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を85%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">【基本的な方向7: 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容⑤</p> <p>ICT機器の利活用推進の為、教職員、児童、生徒が負担なく使用できるように環境を整備する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「学習者用端末活用率表」における、児童生徒の学習者用端末(クロームブック)の月別活用率を小中ともに75%以上を維持する。</p>	
<p>取組内容⑥</p> <p>教職員が健康に働ける職場環境づくりのさらなる充実に向けて、毎週「ゆとりの日」を設定し、時間外勤務時間の減少を促進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>時間外勤務時間において、月100時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>【取組内容⑤】</p> <p>【取組内容⑥】</p>	
次年度への改善点	
<p>【取組内容⑤】</p> <p>【取組内容⑥】</p>	

(様式2)

小中一貫校むくのき学園 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【その他】 ○国際教育プログラムである「国際バカロレア教育(IB)」の認定校認定に向けて準備を進める。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容⑦ 小学校におけるプライマリー・イヤーズ・プログラム(PYP)、中学校におけるミドル・イヤーズ・プログラム(MYP)の授業実践および授業研究会を各1回実施する。	
指標 (小学校) 校内調査における「自分の考えをペアやグループ活動で説明したり、話し合ったりしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 (中学校) 校内調査における「学級の友人との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容⑦】	
次年度への改善点	
【取組内容⑦】	